



—昨年買った除雪機は今も稼働せず！春近し！

園報

令和2年3月号
発行 双葉町子供の家保育園

新型コロナウイルス対策中です

マスク・手洗い・発熱チェックの徹底を



国の専門家会議が示した「見解」のポイントは

- 国内の感染が急速に拡大しかねない状況にある。
- これから1-2週間が、急速な拡大に進むか、収束できるかの瀬戸際となる。(グラフの赤の線に進むか、青の線に進むかの分かれ道に)
- 感染症予防の観点からは、全ての人に新型コロナウイルスの検査をすることは、有効ではない。また、設備や人員の制約のため、全ての人に新型コロナウイルスの検査をすることはできない。
- 風邪や発熱などの軽い症状が出た場合には、外出をせず、自宅で療養を。ただし、目安の症状がある場合には、決して我慢せず相談を。
- 心配だからといって、すぐに医療機関を受診しないで。
- これからとるべき対策の最大の目標は、感染拡大のスピードを抑制し、可能な限り重症者の発生と死亡を減らすこと。
- 症状のない人も、それぞれが一日の行動パターンを見直し、リモートワーク、オンライン会議などでできる限りの工夫を。

石川県 新たに2人感染確認 計4人に

2020年2月24日 21時10分 新型コロナウイルス

石川県は24日夜、県内に住む50代の女性と60代の男性が新型コロナウイルスに感染していることが確認されたと発表しました。石川県内で感染が確認されたのは、これで4人となりました。



石川県の谷本知事は24日夜、記者会見し、新たに県内に住む2人が新型コロナウイルスに感染していることが確認されたと発表しました。

昨年末、中国武漢から急激に広まったとされる「新型コロナウイルス」患者数も死者も非常に多く、罹患された方、お亡くなりになった方々には心からお見舞いお悔み申し上げます。石川県でも、谷本県知事からの発表で今日(2月26日現在)4人の陽性反応者が公表されました。街の中でも、ほとんどの人がマスクを着用し、建物の入り口にはアルコール消毒が置いてあります。このウィルス感染がどこまで広がるのか戦々恐々としているのが今の実態だと思います。保育園では、できる

- 1.登園前、自宅で体温チェックをする。未満児は連絡帳に記入してください。(必須) 以上児は保育園各部屋の名簿に体温を書き込んでください。(必須)
- 2.マスク~出来る子は着用する。保護者もマスク着用で送迎(必須)
- 3.玄関でアルコール消毒を必ずする。ワンプッシュでこまめに(必須)
- 4.園で児童が発熱や嘔吐した場合は、電話連絡するので至急お迎えと受診・結果報告をお願いします。

新型コロナウイルス感染症対策の対応について(内閣官房ホームページ)を参考にしてください。

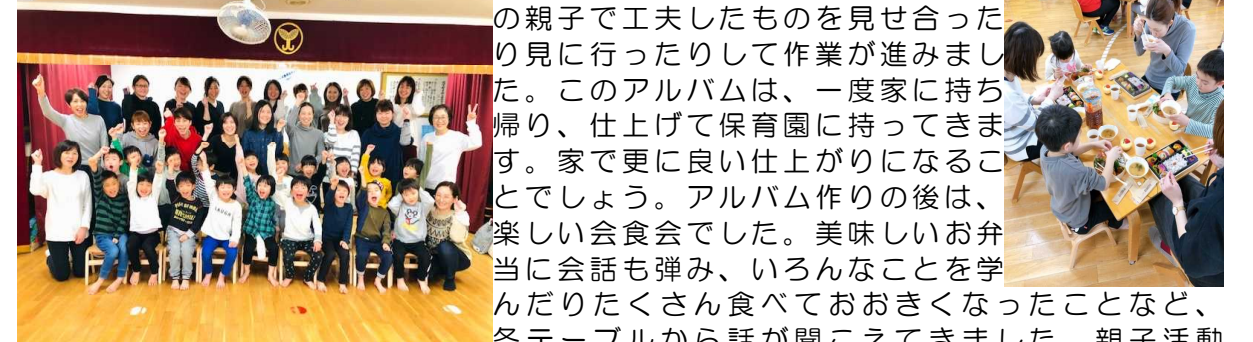
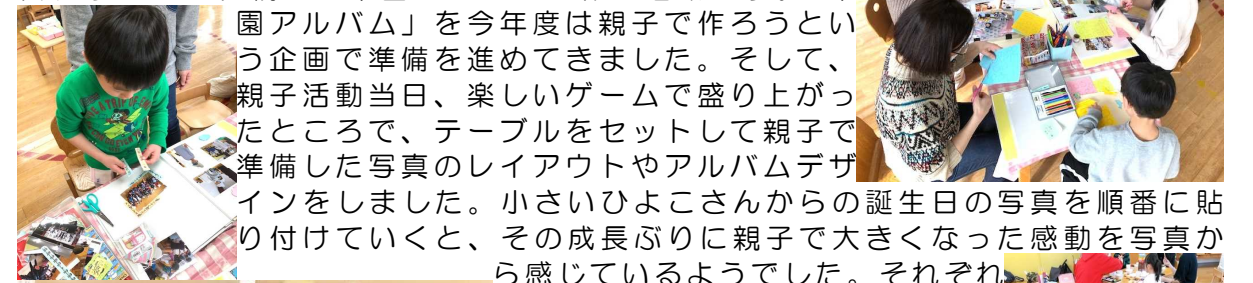
www.cas.go.jp/jp/influenza/novel_coronavirus.html

3月3日の「ひな祭りコンサート」は残念ですが中止します。

対策として左の枠内をお願いいたします。追加の対策があればお知らせします。

親子でアルバム作り～思い出作りの親子活動～

2月18日(火)に親子活動をしました。今年度からの取り組みです。例年、卒園式の後に行っていましたお別れ会の代わりとして、親子で卒園アルバムを作る活動です。「卒園アルバム」を今年度は親子で作ろうという企画で準備を進めてきました。そして、親子活動当日、楽しいゲームで盛り上がったところで、テーブルをセットして親子で準備した写真のレイアウトやアルバムデザインをしました。小さいひよこさんからの誕生日の写真の順番に貼り付けていくと、その成長ぶりに親子で大きくなった感動を写真から感じているようでした。それぞれの親子で工夫したものを見せ合ったり見に行ったりして作業が進みました。このアルバムは、一度家に持ち帰り、仕上げて保育園に持ってきてください。家で更に良い仕上がりになることでしょうか。アルバム作りの後は、楽しい会食会でした。美味しいお弁当に会話も弾み、いろんなことを学んだりたくさん食べておおきくなったことなど、各テーブルから話が聞こえてきました。親子活動の最後はみんなで写真を撮り、キメポーズ「双葉町子供の～イエー！」で締めました。



とんと人形劇「どろぼうがっこう」

子ども達が大好きなとんと人形劇が来てくれました。山の村はすれに泥棒学校という変な学校がありました。泥棒学校の校長先生は、世にも名高い「くまさか とらえもん」校長先生です。校長先生は、「勉強に励んで一番悪い泥棒になるように」と生徒達に言って聞かせます。すると、生徒達はとっても元気な返事で、「はい」「へーい」「ほーい」・・・と答えます。学校が終わると、校長先生は生徒達に宿題を与えます。その宿題とは・・・、明日までに何か泥棒をしてくることです。生徒達は校長先生の話聞き終わると、とっても元気な返事で、「はい」「へーい」「ほーい」「わかりましたー」・・・と言って帰っていくのでした。翌日、生徒達がやってくると・・・さて、生徒達は何を盗んできたのでしょうか・・・それから続く、可笑しくて楽しい泥棒学校のお話。続きは、お子さんから聞いていただければと思います。子ども達の写真からうかがえると思いますが、お話の世界に素直に入っていく、身乗り出して観ている様子や、少し怖いシーンでは、縮こまって観ているなど様々です。事前に、絵本を読み聞かせしているのだから、分かっているお話が人形劇ではどのように演じられるのか、興味津々だったと思います。子ども達と人形劇を楽しむ良い時間でした。

